



1月の園だより

令和5年1月4日

目黒区立中央町保育園園長

あけましておめでとうございます

新しい年、2023年が明けました。保育園には、年末年始をご家族と一緒に元気に過ごした子どもたちの声に戻って来ています。年末に正月を迎えるにあたり玄関の飾りつけを考えていると、2階の方からにぎやかな声が聞こえてきました。声に誘われて上がっていくと「いくよー」「待ってて」「一緒に滑ろう」と2歳児が階段にマットを敷いて作った滑り台で遊んでいました。友達が滑る間をぬってマットを登ったり、頭を下に滑ったりと見ているこちらはどきどきします。担任に「この遊びで何か決めていることはあるの」と聞くと「特にはありません。でも、子どもたちは遊びながら人をよけるようにしたり、ぶつかっても自然に“ごめんね”が言えたり、不思議ですね。この遊びの時はあまりけんかにならないです」と嬉しそうに教えてくれました。その言葉を聞いて改めて子どもたちを見ると、思い切り声を張り上げて、全身で楽しさを発散している満足そうな表情から、その遊びの大切さが伝わるようでした。友達と触れ合い「楽しい」気持ちが通い合い触れ合う姿に成長を感じます「さあ、そろそろお部屋に戻ろうね」と声がすると「もう1回する(滑る)」と全員2回ずつ滑り終えて部屋に戻っていきました。目の前にあることに十分満足できると子どもたちは、次の行動に向かっていきます。これからも心と体の開放ができる遊びをたくさん保育に取り入れていきたいと思います。

今年も安心、安全な保育園運営に努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

【今月の予定】

- 乳児お楽しみ会
- お店屋さんごっこ
- 身体測定 避難訓練

【懇談会】

- 2歳児クラス
- 1歳児クラス
- 4歳児クラス

ぽぷら組 (5歳児クラス) しめ縄作りの様子



育てたお米の藁を使ってしめ縄を作り、正月飾りにします

輪っかに仕上がったしめ縄の余分に出ている藁をはさみでカットしていきます。「神様がこの穴から入ってくるんだよ」「きれいになった」と完成を楽しみにしています。

3人組で稲の藁を「ねじねじ…」とねじりながら編んでいきます。「せーの」と息を合わせて編みますが、中央で抑えている子の手もぶれてしまいそうになり「うーん」と力を入れてなんとか耐えています。





室内遊びの様子

つくし組（0歳児クラス）

入園当初は布団の上で寝ていた低月児の子どもたちも今では、ずり這いや這い這いで自分の好きな玩具の所へ行って遊ぶようになってきました。ある日、ペットボトルで作った水時計の所へ向かっていた子がそれを掴みました。今まではそれを手で押してパタンと倒れるのを楽しんでいましたが、その日、初めてペットボトル同士を繋ぐ部分を手に持ち左右に揺らし、水やビーズがボトルの中で行き来する様を楽しむ姿に変わりました。今まで保育士が見せてきたことが自分でできるようになった嬉しい瞬間でした。



また、高月児の子どもたちも保育士と簡単なやりとりを楽しめるようになり、カバンを持って「これください」「はい（どうぞ）」と、お買い物ごっこのようなことをしたり、お買い物が終わると人形を布団に寝かせて保育士が歌う子守唄に合わせてトントンするお世話遊びも楽しんでいます。歌が終わると「しーっ」と言いながら人差し指を自分の口に持っていく姿もあります。



もみじ組（3歳児クラス）

積み木遊びが盛んになり、毎日「つづきする」と遊んでいます。真剣な表情で積み木の向きを変えながらバランスをとって積んでいき、出来上がると「みて、できた」と嬉しそうです。一人で作ることも多いですが「いっしょにつくろう」「なにつくる」と友達に声をかけて一緒に作ることも増えてきました。作りながら「ここにくるまいれようか」「こっちにどうぶつならべて」等やりとりをし、色々な物を組み合わせています。隣同士で作っていて「つなげようか」と互いの物を合体する等、遊んでいくうちに徐々にイメージが出てきて遊びが広がっています。一緒にやっているとぶつかったり壊れてしまい「こわさないで」と言い合いになることもありますが、そこで終わらず作り直しながらか遊び続けられるようになってきました。様々な物を組み合わせて友達と一緒に作る中で、刺激を受け合ったり工夫をしたりしながら積み木遊びを楽しんでいます。

